

令和5年度 学 校 経 営

1 学校教育目標 よりよく生きる ～夢 笑顔 学ぶ瞳～

これからの子どもたちが成人して社会で活躍する頃、我が国は『厳しい挑戦の時代』を迎える。秋田県の人口予測は2045年には約60万人、高齢化率50%と日本一の高齢県となる。子どもたちには、こうした時代にあっても、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を身に付けることが求められている。

社会情勢がいかに変化しようとも、「生きる力」を、さらに「未来をたくましく生き抜いていく力」「未来を創る力」へと進化させることが学校の使命である。そのために、

「夢」…自己を見つめ、目標に向かって努力する「たくましい子」

「笑顔」…社会の一員として思いやり、関わり合う「やさしい子」

「学ぶ瞳」…よく聞き、考え、学び続ける「かしこい子」

を目指した教育を展開することを基本理念とし、「よりよく生きる」ことを実行できる人財を育てていく。

また、本地区は「教育のまち飯田川」を標ぼうする協力的な地域に支えられている。地域の人的、物的資源と学校との連携により、より充実した教育実践が展開できる。こうした強みを生かし、目標実現に向けてのキャリアプランニング能力や課題解決まで到達する力を一層伸ばしていきたい。

2 めざす姿

◎【未来を創る子ども】を育てます

- たくましい子 …自己を見つめ、目標に向かって努力する子ども
- やさしい子 …社会の一員として思いやり、関わり合う子ども
- かしこい子 …よく聞き、考え、学び続ける子ども

◎【進化し続ける教師】をめざします

- 子どもを大切にする教師 …「子どもにとってどうか」を考えた共感的理解と指導
- 成長し続けようとする教師 …「改善と向上」を常に意識した実践とPDCA
- 明るく、健康で信頼される教師 …「健康管理とコンプライアンス」

◎【進化し続ける学校】をめざします

- 夢と希望がもてる学校 …「子どもが自己存在感・自己有用感を感じる活動」がある
- 自立と共生の場がある学校 …「子どもが主人公（前面・全面）で、助け合う場」がある
- 地域とつながっている学校 …「子どもを通して地域の人が相互に生きる場」がある

3 合い言葉： 「発信」「よく見て 試して 考える」

これからの未来を創り上げていく子どもたちは、多様な人々と協働しながら、社会の変化に対応しなければならない。そのためには、自分の思いを伝え相互理解を図るためのコミュニケーション能力や問題を自力で解決する学習や体験に裏打ちされた思考力、ICT 機器や情報ツールを有効に活用できる情報活用能力の育成が必要である。自らの夢の実現や課題解決に向けて、自分の思いや考えを、友達や学級、学校、そして地域へと「発信」できる子どもを育てる教育を目指したい。

また、学校と家庭と地域が手を携えて、「チーム飯田川」としての教育活動を「よりよく」推進するために、子どもの姿を「よく見て」、常に「よりよい」方法を「試して」、次の一手を「考えて」、実行する教師集団でありたい。

4 経営の重点

1 夢 ～たくましい子～	
重点事項	◎自己目標の実現に向けてねばり強く取り組む子どもの育成 ◎たくましく生きる心と体の育成
共通実践事項	①目標をもち、健康でたくましい心と体を育てる教育活動の充実 ②自分の命を自分で守る力を育てる、安全教育の推進 ③キャリア教育の視点を重視したふるさと教育の推進

2 笑顔 ～やさしい子～	
重点事項	◎思いやりの心をもち、助け合い、明るいあいさつや会話ができる子どもの育成 ◎規範意識と自他を尊重する心の育成
共通実践事項	①全ての子どもに心の居場所がある学校・学級づくり ②生徒指導の充実 ③思いやりの心を育む道德教育 ④読書活動の充実

3 学ぶ瞳 ～かしこい子	
重点事項	◎自ら学ぶ子どもを育む授業改善 ◎基礎・基本の確実な定着を図る指導の工夫
共通実践事項	①共感的人間関係の中で、主体的・対話的に学ぶ子どもの育成 ②基礎・基本の確実な定着を図る指導の工夫 ③特別支援教育の充実

4 進化し続ける学校・教師	
重点事項	◎家庭・地域と学校を結び、活力のある学校づくり ◎成長し続け、高め合う教師集団
共通実践事項	①開かれた学校、信頼される学校づくり ②家庭・地域・関係機関等との連携 ③指導力を高める研修の充実